

水土里ネットおおいた

土地改良広報 No.338



水上ドローンを用いた溜池の深淺測量（大分市）

Contents

02 義経会長 あいさつ

03 トピックス

- ・第65回通常総会が開催される
- ・全国水土里ネットが通常総会並びに表彰式を開催
- ・白水・荻柏発電所小水力発電開始式式典の開催

06 会議・要請活動

- ・耕地課発足90周年記念式典が行われる
- ・大分ため池技術研究会が技術講演会を開催
- ・第3回監事会及び第4回理事会が開催される
- ・大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2022
～水土里の資源を次世代へ～
- ・令和4年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会

- ・令和4年度 土地改良区監査実務等向上研修会を開催
- ・土地連九州協議会 会長・事務責任者会議が開催される

10 令和5年度 連合会の職員配置

11 水土里ネット大分 各部課所長の紹介

13 令和5年度 新規採用職員の紹介

14 令和4年度 資格取得者

4
2023
April



会長あいさつ

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経 賢二

惜春の候、会員並びに関係者の皆様方におかれましては益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本会の運営並びに農業農村整備の推進につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスによる世界的な感染もようやく落ち着きをみせ、5月8日の感染法上の位置付けの5類移行で生活様式の激変による苦勞から、少し開放されるのではないかと期待しております。

一方、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻による緊迫はいまだ続いており、一刻も早く平穩無事な世界となることを願うばかりです。これを起因とした、燃料・電気・資材・食料の高騰に加えて、「物価の王様」とまで呼ばれた卵までもが、全国的な鳥インフルエンザの発生により高騰するなど、食料安全保障をめぐる情勢も厳しさを増しております。

このような情勢のもと、国においては制定後20年以上が経過した「食料・農業・農村基本法」の見直しに向けた議論が行われています。その中でも、土地改良の果たす役割は益々大きなものになるのではないかとみています。

次に、全国的な農業土木技術者の不足により災害対応や事業推進の停滞が危惧される中、令和4年4月に施行された土地改良法の一部改正では、会員が行う防災・減災対策や小規模な基盤整備を支援するため、土地改良事業団体連合会が会員からの委託を受けて、土地改良事業の工事を行うことが可能となりました。市町村をはじめ土地改良区においては、農業土木職員が少なく、支援をお願いできないかという声がこれまでもありました。今後は、これらに対応するため、県の力を借りつつ、会員の皆様を支援できる体制を整えてまいります。

また、土地改良区では、新たな会計制度が本格導入され一年が経ちました。これまでも本会の会計指導員が土地改良区を訪問し、相談や指導の対応を行ってまいりましたが、今後も課題が出てくるものと思われます。連合会といたしましては、引き続き会員支援や指導を行う体制を整え、課題解決に向けた取り組みを進めてまいります。

このような中で、今年度の農業農村整備事業関係予算は、当初予算では前年を上回る4,457億円、令和4年度補正予算を含めて6,134億円が確保されました。これもひとえに二階全土連会長をはじめ、全国水土里ネット会長会議の進藤金日子顧問、宮崎雅夫顧問など多くの方々のお力添えのおかげだと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

本年度も、県をはじめ関係機関との連携を図り、国に対しての要請活動を行い、会員の皆様の利益増進につながる事業活動を積極的に展開する所存でございます。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

第65回通常総会が開催される

3月27日（月）、土地改良会館大会議室において第65回通常総会を開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、委任状を活用して規模を縮小し実施された。来賓として広瀬勝貞大分県知事、宮崎敏行九州農政局長、佐藤章大分県農林水産部長らが出

席した。

総会に先立ち土地改良事業に功績のあった土地改良区会員個人10名、県関係個人4名、特別表彰1団体^{※1}をそれぞれ表彰。受賞者を代表し会員個人表彰の秦忠士大野町土地改良区理事長から謝辞を述べた。

【大分県土地改良功労者表彰】

1. 土地改良区会員の部

管内	氏名	所 属	職名	年齢	経験年数
高田	森若 清彦	呉崎干拓土地改良区	総括監事	69歳	24年
杵築	工藤 要一	藤原土地改良区	理事	71歳	18年
大分	漆間 桂造	明治大分水路土地改良区	理事	89歳	16年
佐伯	高橋 勲	弥生土地改良区	理事	78歳	19年
三重	秦 忠士	大野町土地改良区	理事長	72歳	14年
竹田	村上 武利	白水井路土地改良区	総括監事	79歳	16年
玖珠	小川 克己	九重土地改良区	副理事長	71歳	21年
日田	吉秋 継徳	日田市土地改良区	理事長	72歳	18年
中津	中 眞一	荒瀬井堰土地改良区	副理事長	83歳	19年
宇佐	芝原 康士	宇佐土地改良区	理事	81歳	28年

2. 県関係功労者

氏名	所 属	職 名	年齢	勤続年数
河野 哲也	東部振興局日出水利耕地事務所	所長	60歳	36年
田中 賢治	南部振興局	課長補佐（総括）	60歳	37年
宮成 俊治	豊肥振興局	課長補佐（総括）	60歳	42年
伊藤 裕司	豊肥振興局大野水利事務所	主幹（総括）	60歳	42年

3. 特別表彰

団 体 名	所 在 地
宇佐市立 四日市北小学校	宇佐市大字四日市1351番地の1

※1 宇佐土地改良区が行う、宇佐の農業水利施設の施設見学会などの出前授業を受け、宇佐平野の歴史と農業用水利施設の役割を学びパンフレットを作成し、発表等の活動を行ったことにより表彰。



前列左より

小川克己、吉秋継徳、秦忠士、義経賢二、是永修治
川島数志、漆間桂造、中眞一

後列左より

宮成俊治、河野哲也、村上武利、森若清彦、工藤要一
芝原康士、田中賢治、伊藤裕司、加藤正明

総会では、本会の義経会長が「先般行ったブロック説明会、多面的シンポジウムにおいて、会員の皆様から様々な要望をいただいておりますが、今後も会長として現場の諸課題につきましてはスピード感をもって対応していきたい」とあいさつ。

総会の議事では、議長に九重土地改良区の宮崎小二朗理事長を選任し、提案した8つの議案が原案どおり承認された。

また、広瀬勝貞大分県知事は、今季限りの退任で本会総会への出席も最後となることから、出席者一同から、長きにわたり土地改良事業の発展への多大なる貢献に感謝が伝えられた。



全国水土里ネットが通常総会並びに表彰式を開催

3月23日（木）、全国水土里ネット（二階俊博会長）は東京都の全国都市会館において第65回通常総会を開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、3年ぶりの通常開催となった。冒頭の二階会長あいさつでは「全国の皆様からの熱意ある要請活動により、令和5年度当初予算（4,457億円）に令和4年度補正予算を含めて6,134億円が確保され、補正予算においては、燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入できたお礼、また、男女共同参画の推進についての取り組みのお願い」があった。

議事では、総会提出の11議案が全会一致により承認され、水土里ネット大分の義経会長が引き続き副会長（任期2年）に選任された。

総会后、会場をシェーンバッハ・サボーに移し、全国水土里ネット表彰式が開催された。表彰式は、第64回全国土地改良功労者等表彰と農業農村整備優良地区コンクールが執り行われ、大分県からの受賞者は第64回全国土地改良功労者等表彰の全国水土里ネット会長表彰として、団体（杵築市土地改良区）、個人（大井手堰土地改良区 國分重喜理事長、荻西部土地改良区 熊野忠政理事長、九重土地改良区 麻生芳信事務局）が表彰された。



全国水土里ネット 第65回通常総会



第64回全国土地改良功労者等表彰（二階会長との記念写真）

左より 義経賢二会長（全国水土里ネット副会長）、
杵築市土地改良区 小春稔理事長、
二階俊博全国水土里ネット会長、
大井手堰土地改良区 國分重喜理事長



全国水土里ネット 表彰式

白水・荻柏発電所小水力発電開始式典の開催

竹田市荻町にある白水井路土地改良区・荻柏原土地改良区が令和5年4月の運用開始に向けて農業水路等長寿命化・防災減災事業にて白水（はくすい）発電所、荻柏（おぎかし）発電所が完成し令和5年3月22日（水）に発電開始式式典が行われた。組合員農家の負担軽減を目指し、土地改良区として地域農業の継続・発展を目的として建設された。

白水発電所は、最大水量：0.339m³/s、有効落差：106m、最大送電電力：265kW、水車型式：横軸ペルトン水車、鉄筋コンクリート1階建てで年間発生電力量：令和2年時点で162万kWhを想定してある。

荻柏発電所は、最大水量：0.560m³/s、有効落差：78m、最大送電電力：324kW、水車型式：横軸フランシス水車、鉄筋コンクリート1階建てで年間発生電力量：令和2年時点で180万kWhを想定してある。

当日の午前中に両発電所の神事・試運転が行われ、報告祝賀会を同町内にある荻の里温泉館にて大分県、竹田市、両改良区など各関係者を合わせて約70名にて執り行われた。

主催者を代表として堀白水井路土地改良区理事長の挨拶から瀏野県豊肥局長、土居竹田市長、義経県土連会長の来賓挨拶が行われ、盛大な祝賀会となった。



堀白水井路土地改良区理事長より主催者挨拶



義経県土連会長より祝辞

会議・要請活動

● 耕地課発足90周年記念式典が行われる

1月28日（土）、大分市トキハ会館において「大分県耕地課発足90周年記念式典」が関係者約130名出席のもと開催された。

来賓として佐藤章農林水産部長、是永修治大分県農業農村整備事業推進協議会長（宇佐市長）、三上忠治大分県土地改良区理事長会長（並石土地改良区理事長）が出席。来賓挨拶をいただいた。また、耕地課OBである吉田忠智参議院議員から祝辞をいただいた後、土地改良にゆかりのある進藤金日子、宮崎雅夫両参議院議員からの御祝いメッセージ披露があった。

式典では、野上輝義県工事技術管理室長から「耕地課のあゆみ」として昭和7年から現在に至る主要事業と耕地課の変遷について、年表をもとに紹介がなされた。続く記念講演では、水土里ネット大分義経賢二会長より「耕地課90年の足跡と今後の展望」と題して、これまで諸先輩方が連綿とつないできた土地改良事業の歴史について、時代ごとの背景を踏まえたその実施成果と現在の課題、進むべき方向、及び100周年へ向けた期待を力強く語った。

最後に、県農村基盤整備課の平井技師より、この耕地課90周年に参集した方々に向け「先輩方の土地改良に対する熱い思いを受け継ぎ、良い形へと育んでいく」と意見発表がなされ、閉会した。



黒垣参事監による
主催者挨拶



是永市長来賓挨拶



義経会長が記念講演を行う



平井技師による意見発表

●大分ため池技術研究会が技術講演会を開催

平成29年に設立した大分ため池技術研究会（会長：佐野博昭 防衛大学校教授、89会員）の「技術講演会」が、1月17日（火）、大分市コンパルホール文化ホールを会場に約130名が出席し開催された。

講演は、はじめに県の防災班担当総括から、ため池工事の設計積算や施工管理等の実施にかかる課題等を整理・検討し方針を決定する作業を行っている「ため池工事検討会議」の検討状況を講演していただき、続く2題は県の検討項目に関連する遮水シートと不良土に関しての講演と発表、最後は、地盤工学の専門家による「ため池堤体材料の液状化および耐震対応について」と4つの講演・発表が行われた。

地質調査・設計・施工等に関わる研究会会員にとって県からの最新情報提供などは今後の研究会活動に非常に有益なものとなることが期待される。

本研究会は、「技術力の向上」と「農業土木技術の継承」の設立趣旨を再確認の上、産学官の関係者の幅広い連携・参画を通じて、より現場課題解決につながるよう活動を展開していくこととしている。



●第3回監事会及び第4回理事会が開催される

1月31日（火）に第3回監事会が田中利明総括監事他2名の監事が出席して開催された。令和4年度一般会計並びに特別会計の収入支出補正予算（案）、また、令和5年度一般会計及び特別会計収入支出予算（案）について、審議が行われ、原案どおり承認された。田中総括監事より新年を迎え経済や環境、社会に様々な兆しが見えてくるのではないかと、平穏無事な1年を願っているとの挨拶をいただいた。

2月9日（木）には第4回理事会が開催され、前述の補正予算（案）や第65回通常総会提出議案並びに大分県土地改良功労者の選考について審議され、原案どおり可決された。義経会長からは、2月20日（月）から3月6日（月）にかけて県内7箇所で開催される総会提出議案の事前説明会を開催することを報告し、各ブロック代表理事に協力を求めた。



●大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2022～水土里の資源を次世代へ～

令和5年2月1日（水）J:COMホルトホール大分 大ホールにて農村の活性化や県内活動組織の取組への意識向上を図るとともに、更なる取組面積の拡大や組織の広域化推進を目的に開催をした。県内活動組織等284名出席いただき、令和4年度の優良活動組織の5組織による事例発表や表彰式、大分大学 経済学部 山浦准教授による 地域「を・が」支える農業インフラー「農村RMO」の可能性― と題しまして基調講演が行われた。

令和4年度 優良活動組織

最優秀賞：沖の津留地区保全管理組合（佐伯市）

優秀賞：下岐部地域環境保全組合（国東市）

優秀賞：相原地域資源保全会（日出町）

優秀賞：久住地域広域協定（竹田市）

優秀賞：月出町地域資源保全組合（日田市）



●令和4年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会

令和5年2月3日（金）大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会は、今年度の事業計画に沿って研修会を開催し、県下の会員土地改良区より39団体42名が参加した。

本研修会では、大分県人権啓発研修講師 久住講師より人権擁護研修として「差別の解消に向けて取り組む社会を目指して～身近なテーマから考える人権～」、大分県土地改良事業団体連合会 佐藤専門員より会計研修として「複式簿記会計の運用について」の2つの題目で研修が行われた。



●令和4年度 土地改良区監査実務等向上研修会を開催

令和5年2月24日（金）にJ:COMホルトホール大分3階大会議室において、「令和4年度 土地改良区監査実務等向上研修会」を開催した。県下の土地改良区より監事を中心に73名が参加する中、九州農政局土地改良管理課 中村課長、大分県農村整備計画課土地改良指導・換地班 久住総括を講師としてお招きし、土地改良区の役員の職務、監査のあり方について研修を行った。



開会に当たり、大分県土地改良事業団体連合会 加藤常務理事より「土地改良区でそれぞれの地域の農業を支えていただいている。大変重要なお仕事をさせていただいて感謝している。運営の透明化を図ることにより組合員や一般の皆さんが、納得していただける信頼される運営を行うことが重要である。一部の不祥事で土地改良区全体が信用を失うこととなりかねない。今回の研修で監事の重要性、運営の健全化、土地改良区の体制強化につながることを期待している。」と挨拶を述べた。

研修会では、九州農政局 中村課長より「土地改良区役員の役割と不祥事の未然防止について」、大分県 久住総括より「土地改良区監査への臨み方～定期検査を参考として～」の2つの題目で、監査のポイントや監事の権限、不祥事の防止対策等について検査の主な内容及び指摘事項等の詳細について講義があり、両講師とも分かりやすく丁寧に、また具体的に説明いただき、研修終了後は活発な意見交換等も行われるなど充実した研修内容となった。



●土地連九州協議会 会長・事務責任者会議が開催される

3月16日（木）令和4年度土地改良事業団体連合会九州協議会（会長：田島健一佐賀土連会長）会長・事務責任者会議が佐賀県にて開催された。

事務責任者会議においては、令和5年度九州協議会政策提案項目について各県の専務・常務理事より議論がなされた。また、引き続いて開催された会長・事務責任者会議においては、九州農政局 植野農村振興部長のあいさつの後、小谷設計課長、中村土地改良管理課長より国の情勢報告、並びに全国水土里ネット室本専務理事より情勢報告がなされた。意見交換では、本会の義経会長より国に対して、水田の畑地化に伴う土地改良区決済金等支援については、現場の土地改良区も困惑しており制度づくりに対しては、現場の意見を十分に踏まえて反映させる必要がある旨、強く要望した。



会長事務責任者会議



意見を述べる義経会長

令和5年度 連合会の職員配置

部署名	職名	氏名
総務部	参与	伊藤 信二
	事務局長兼 総務部長	森下 健二
総務課	総務部次長兼 総務課長	鶴成 徹
	課長補佐	工藤 寛嗣
総務係	技師	中村 貴輝
経理係	主査	首藤 英介
	主任	吉岡 桂介
会員支援課	課長	佐藤 公博
	課長補佐	大石慎一郎
会員支援係	主任	十塚 弘一
	主任	江田 敏寿
	主任	福田 良貴
	技師補	柴田 享兵
情報管理課	課長	秋吉 克則
	課長補佐	佐々木光治
情報管理係	主任	福田 達
水土里情報係	主任	宇都宮弘樹
	技師	片山 愛理
事業部	部長	松木 一宏
農村整備計画課	事業部次長兼 農村整備計画課長	清水 寿和
	課長補佐	阿南 貴章
企画調査係	主幹	安部 俊郎
	主任	西川 真

部署名	職名	氏名
農村整備係	主任	塗木 一輝
	技師	山田 翔太
	主任	宇高 亮
	主任	古庄 巧
	技師	束野 克実
災害対策課	技術員	有永 望叶
	課長	河野 直樹
	課長補佐	板井 正信
	技術支援係	技師
調査測量係	主任	林 智光
	技師	藤澤 匠真
	技術員	児玉 堅
換地課	課長	田部 文敏
換地係	主幹	工藤 大介
	主任	増岡 樹信
(北部国営対策班)	技師	前田 侑希
	技師	水澤 陵甫
	主幹	佐藤 祐樹
	主任	清家 大志
	測量課	課長
調査測量係	課長補佐	重光 宏昌
	主幹	藤田 義昭
	技師	首藤 宏志
	技師補	甲斐 颯人
	技師補	白須 大和

部署名	職名	氏名
中部事務所	所長	馬場啓四郎
調査設計課	課長	梅本 隆男
調査設計係	主幹	小川 剛
	技術員	吉田 蒼
南部事務所	所長	河野 浩一
	次長	麻生 賢正
調査設計課	課長	阿南圭一郎
調査設計係	主幹	麻生 晶広
	技師	平野 祐輝
	技師	藤原 大輔
	技師	重藤 樹弥
	技師	藤縄 愛大
西部事務所	所長	中城 英利
調査設計課	課長	宮尾 文康
調査設計係	主任	赤嶺 孝輔
	技師	吉田 聖
北部事務所	所長	清末 功一
	次長	伊東 哲士
調査設計課	課長	河野 智弘
調査設計係	主幹	岡部 真一
	主査	松本 浩一
	主任	山本 勇樹
	技師	東 兵樺
	技師	松田 伸也
	技師	高山 遼大

水土里ネット大分 各部課所長の紹介



● 参与 伊藤 信二

地域で農業農村の維持・振興を基盤面から下支えしている会員皆さまへの支援を最大の使命とする連合会の業務遂行において、着実かつ円滑な事業推進の一助となるよう今後も一層努力してまいり所存ですので、引き続きよろしくお願い致します。



● 事務局長兼総務部 部長 森下 健二

本年度、事務局長兼総務部長を拝命致しました。私どもは、会が新たに取り組む業務やICT活用による調査測量設計業務の体制強化を目指すとともに、会員皆様の様々な要望に沿えるように、これまで以上に迅速な情報提供と会員支援に取り組んで参りますので、引き続きよろしくお願い致します。



● 事業部 部長 松木 一宏

本年度、事業部では新たに管内調査用カメラや水中ドローン、深淺測量用ボート等の運用を開始し、安全で迅速な調査が可能となりました。また、災害等の研修会も引き続き行い技術力の向上を図って参ります。今後も会員の皆様方の要望に沿えるよう総務部とも連携を図り尽力して参ります。



● 総務部次長兼総務課 課長 鶴成 巖

総務課では、総務全般の業務に加え、総会や理事会、監事会、各種協議会等の事務局を担っております。コロナ感染対策も3年目をむかえた昨年度は徐々に緩和され、コロナ前の活動に戻ってまいりました。引き続き職員8名で会運営の健全化を図ることはもとより、会員皆様方の要望にそえるよう努力して参ります。



● 事業部次長兼農村整備計画課 課長 清水 寿和

このたびの異動により事業部次長兼農村整備計画課長を拝命しました。

農村整備計画課では新規事業の啓発・推進等を行う計画部門と防災重点農業用ため池に関する調査、農業集落排水事業の計画・実施設計、新技術の研究等を行う設計部門があります。

関係各位の皆様方の御要望に御応えできるよう職員一丸となって努力して参ります。



● 会員支援課 課長 佐藤 公博

会員支援課では課員8名で、会員の皆様による各種相談への対応や体制強化事業、多面的機能支払、ため池サポートセンターなどの各種補助事業に取り組んで参ります。また、今年度も複式簿記等や法改正に伴う諸問題へ迅速な対応を行いながら、会員皆様の支援になるよう出先事務所と連携を図りながら努力して参ります。



● 情報管理課 課長 秋吉 克則

情報管理課では、情報管理係（積算システム運用管理・工事図書電子化等）及び水土里情報係（水土里情報システム運用保守・問合せ対応）の業務を行っております。

併せて、県下60の団体が加盟する「大分県水土里情報センター推進協議会事務局」も担っており、課員全員で皆様のご要望に沿えるよう努力していく所存です。



●災害対策課 課長 河野 直樹

災害対策課では災害復旧事業を主に担当しています。

地震や豪雨による農地・農業用施設の被災状況を迅速に把握し、災害査定から実施設計までの一連の業務を行います。また、災害技術向上を目的とした災害実務研修を通して、技術者育成に努めてまいります。

本年度より、ため池等の貯水量・土砂堆積量を計測する深淺測量に取り組みますので、よろしくお願い致します。



●換地課 課長 田部 文敏

換地課では、県内の換地計画や換地処分登記等に関する業務や業務に係る情報の収集や提供を行っています。

今年度も換地職員10名でスクラムを組み、会員皆様方のご要望に沿えるよう一層努力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



●測量課 課長 大塚 景介

測量課では、県内一円の境界測量・確定測量の業務を行っています。会員の皆様や地元地権者に、きめ細やかな対応を心がけ、職員一丸となって生産基盤の整備に貢献できるよう、努力して参ります。

どうぞよろしくお願い致します。



●中部事務所 所長 馬場 啓四郎

中部事務所は、大分市、由布市、臼杵市、津久見市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っております。

本年度も色々な情報を集約して、会員の皆様方と共有し連携して、ご要望に応えられるよう取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。



●南部事務所 所長 河野 浩一

南部事務所では、佐伯市・豊後大野市・竹田市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。昨年度に引き続き、職員10名体制で前述の業務に加え会員支援並びに事業推進に取り組むとともに、会員の皆様方に満足していただけるよう努力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



●北部事務所 所長 清末 功一

北部事務所は、中津市・宇佐市・豊後高田市・国東市・姫島村・杵築市・日出町・別府市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。

職員数は、昨年度より1名増員し、総勢11名となりました。

会員の皆様方のご要望に応えられるように職員一同努力して参ります。



●西部事務所 所長 中城 英利

西部事務所は、日田市・玖珠町・九重町における土地改良事業の調査測量・設計等の業務に従事し、管内土地改良事業全般の事業推進を行っています。総勢5名と少数ですが、地域農業発展のため熱い気持ちを持って、会員皆様方のご要望にお応えできるよう努力していきます。

令和5年度新規採用職員の紹介



安藤 朔也

この度、新規採用されました安藤朔也です。

私は、小学校2年生から現在まで野球を続けてきました。野球を通して学んだ挨拶や礼儀を大切に、連合会や生まれ育った大分に貢献したいと思っています。

そのために責任感と自覚を持ち一日一日を無駄にせず、一生懸命頑張ります。

慣れないことや分からないことが多くあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



赤峰 慶俊

この度、新規採用されました赤峰慶俊です。

小学校から野球を続けています。

その野球で培った礼儀と粘り強さを生かし水土里ネットに貢献し、自分を育てくれた大分と地域の方々に恩返ししていきたいです。その為には、日々の努力の積み重ねが大事だと思うので精一杯頑張りたいと思います。まだまだ分からないことが多々ありますがご指導のほど宜しくお願い致します。



中津留 颯太

この度、新規採用されました、中津留颯太です。

津久見高校電気電子科を卒業しました。小さなころから地元の津久見で野球をしてきました。野球やみかんの町として有名な津久見市ですが、近年、台風や大雨による水害、土砂災害によって、閉園に追い込まれる畑が多く、みかんの生産は減少する一方です。この農業の現状は、どの市町村も同じだと思います。この現状に対して少しでも力になっていければと思います。まだまだ分からないことばかりですが責任と向上心を持ち業務に取り組んでいきます。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



北田 圭佑

この度、新規採用されました北田圭佑です。

私は、小学校から野球をしてきました。今まで培ってきた礼儀や挨拶、時間を守ることなどを大切に、日々の仕事に取り組んでいきます。連合会の一員として地域に貢献できるように、また社会人として一人前になれるように仕事や勉強を頑張ります。先輩方、何卒よろしくお願い致します。



幡手 幹也

日本文理大学を卒業しました。大学時代、日本一の野球部員の中で学んだコミュニケーションや礼儀や挨拶を大切に、日々チャレンジ精神を持って業務に取り組み、ワンチームの精神を心掛け頑張ります。さらに、先輩方をお手本にし早く連合会の力になれるよう努力していきますので、ご指導よろしくお願いします。

令和4年度 資格取得者

令和4年度資格試験に以下の方が合格されました。おめでとうございます。

1級土木施工管理技士	中部事務所	安部 俊郎
2級土木施工管理技士補	総務課	吉岡 桂介
	総務課	中村 貴輝
	会員支援課	柴田 享兵
	情報管理課	宇都宮弘樹
	情報管理課	福田 達
	北部事務所	松田 伸也
	災害対策課	藤原 大輔
	災害対策課	林 智光
	測量課	福田 良貴
	測量課	甲斐 颯人
	測量課	白須 大和
	測量課	首藤 宏志
	換地課	前田 侑希
2級土木施工管理技士	情報管理課	山田 翔太
	南部事務所	重藤 樹弥
	換地課	清家 大志
農業土木技術管理士	会員支援課	江田 敏寿
	測量課	藤田 義昭
ITパスポート	情報管理課	福田 達
UAV2級操縦士技能	情報管理課	片山 愛理
	災害対策課	林 智光
農業用ため池管理保全技士	会員支援課	江田 敏寿
	中部事務所	梅本 隆男
	北部事務所	小川 剛
	南部事務所	麻生 晶広
	西部事務所	吉田 聖
	農村整備計画課	西川 真
会計指導員	会員支援課	工藤 寛嗣



水土里ネット大分



大分県土地改良事業団体連合会

■事務局	〒870-0045	大分市城崎町2丁目2番25号 TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
■中部事務所	〒870-0045	大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F） TEL097-536-6631 FAX097-534-4338
■南部事務所	〒879-7125	豊後大野市三重町内田742-3 TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
■西部事務所	〒879-4413	玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2 TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
■北部事務所	〒879-0453	宇佐市大字上田1301-2 TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

